

西宮市議会だより

Nishinomiya city assembly news



9月定例会
第161号

TOPICS

▶ 高校生が市議会へ ▶ 議会体感ツアーを開催



武庫川の風景

CONTENTS

- 9月定例会の主な内容、審議日程 2
- 一般質問、12月定例会の開催予定、
高校生が市議会へ 3～9
- 委員会の活動状況 10
- 議案等審議結果一覧表 11
- 議会体感ツアーを開催 12

9月定例会

主な内容

9月定例会の主な内容をお知らせします。全ての議案等の審議結果はP.11をご覧ください。



令和5年度決算

認定

令和5年度の各会計決算を認定しました。一般会計では、新型コロナウイルスの5類移行や教育施設等の整備の進捗などにより、歳入・歳出ともに前年度決算額を下回りました。財源不足に対応するため、市の貯金である財政基金を41億円取り崩すことで実質収支の黒字を確保しています。実質収支の半分は、再度財政基金に積み立てられ、残る半分は令和6年度の財源として活用されます。

一般会計

歳入	1,983億3,829万円	(1.5%減)
歳出	1,975億9,926万円	(1.5%減)

特別会計

歳入	940億2,591万円	(2.1%増)
歳出	927億2,491万円	(2.6%増)

企業会計

当年度純利益 (△純損失)	水道事業会計	6億4,634万円
	工業用水道事業会計	△1,737万円
	下水道事業会計	1億8,680万円
	病院事業会計	△9億7,555万円

(カッコ内は前年度比)

所管事務調査 (総務常任委員会)

西宮市新型コロナウイルス感染症対応検証報告書

令和2年3月に本市で最初の感染者が確認され、令和5年5月に感染症法上の5類感染症に変更されるまでの間、市内の感染者は14万人を超えました。この間の約3年間における市の主な取り組みとその評価、今後の課題を総括した「西宮市新型コロナウイルス感染症対応検証報告書」が作成されました。報告書では、今後のパンデミック(新たな感染症の世界規模での同時流行)に備え、今回得た知見や経験を整理し、市の感染症対策を改善していくとしており、内容は市のホームページでも確認することができます。

施設使用料の改定

市の施設使用料は、「負担の公平性」「透明性の確保」「定期的な見直し」を図ることを目的として、令和元年7月に策定さ

主な審議日程

8月	
29(木)	本会議 提案説明
9月	
4(水)	本会議 一般質問 (26人)
5(木)	
6(金)	
9(月)	本会議 一般質問 (1人)、質疑、委員会付託
11(水)	常任委員会 (総務、健康福祉、教育こども)
12(木)	常任委員会 (民生、建設)
17(火)	本会議 委員長報告、討論、採決、提案説明、委員会付託 (決算) 決算特別委員会 (全体会)
24(火)	決算特別委員会 (総務、健康福祉、教育こども分科会)
25(水)	決算特別委員会 (総務、健康福祉、教育こども分科会)
26(木)	決算特別委員会 (総務、民生、建設分科会) 常任委員会 (総務)
27(金)	決算特別委員会 (民生、建設分科会)
10月	
2(水)	決算特別委員会 (全体会) 本会議 委員長報告、討論、採決 (決算) 常任委員会 (総務)

所管事務調査 (民生常任委員会)

西宮市食肉センターのあり方検討

昭和63年に西宮浜2丁目に移転整備された西宮市食肉センターは、食肉需要の増加や食の安全に対する意識の高まりなどを背景に、衛生的で安全な食肉の提供を確保する公の施設としてその役割を果たしてきました。しかしながら、近年の使用料収入の減少や管理運営経費の高止まりなどにより、令和5年度の一般会計からの繰入金金は2

所管事務調査 (民生常任委員会)

西宮市立中央図書館移転整備基本構想及び基本計画(素案)に対する意見提出手続き(パブリックコメント)の結果

市は、市立中央図書館を阪神西宮駅北側エリアへ移転し、まちなか図書館として、駅前立地を生かした知と交流の拠点として整備することを検討しており、移転整備に関する基本構想及び基本計画に対するパブリックコメントが実施されました。88名の方から287件の意見提出があり、寄せられた意見とそれに対する市の考え方、意見を受けて修正した素案の内容等について報告が行われました。

一般質問

27人の議員が
市政に対する一般質問を
行いました。質問の
一部をご紹介します。



浜口ひとし
日本維新の会
西宮市議団

西宮浜義務教育学校以外でも
選択ができる教育環境の構築を

問 既存の小学校区を維持しつつ、児童・生徒が行きたい学校を選べる学校選択制の導入を進めるべきと考えるがどうか。

答 新たな学校で学校選択制の導入予定はないが、学校が小規模化の中で活力ある学校づくりを推進するためにはさまざまな観点から慎重な検討が必要。

水泳授業の民間委託

問 水泳授業の民間委託は児童・生徒への質の向上、先生の負担軽減、長期的な施設コストの抑制等メリットが多く、実施に向けて早急に検討すべきでは

答 この数年間で学校プールを取り巻く状況は大きく変化しているため、長期的なコスト比

較と、移動手段や授業時間の確保等の課題を改めて検討する。
(質問時間26分)



菅野 雅一
会派・ぜんしん

新川・東川統合排水機場の
早期完成を県に求めよ

問 県は今津港の新しい新川水門の隣に整備する新川・東川統合排水機場の完成時期を当初予定の令和8年度から7年間延期し、15年度とする方針を明らかにした。資材価格の高騰による整備費の増大などが原因で、臨海部の高潮対策が大幅に遅れることになった。県に事業の早期完了を働きかけるべきでは。

答 昨今の社会情勢上、やむを得ない面もあるが、着実な整備の実施と早期完成を県に求める。地元団体や関係機関などとの調整を行い、円滑に事業が進捗するよう努める。

津波浸水想定区域について
わかりやすい広報を

問 市は新しい新川水門をはじめ、県の津波防災インフラ整備計画が完了すれば、市内の津波浸水想定区域(防潮堤内)が84.2%から16.3%に約81%

縮減されると広報してきた。しかし、この計画が令和5年度に完了したにもかかわらず、想定区域の変更について公表しておらず、市民に誤解や戸惑いを与えかねない。わかりやすい広報が必要では。

答 県の津波浸水想定区域の縮減見込み図と市の津波ハザードマップの違いなどについて、市民に誤解を与えないよう、ホームページや市政ニュースに掲載し、出前講座や防災イベントなどでの丁寧な説明を心掛ける。
(質問時間36分)



新川水門(今津港)



たかのしん
会派・ぜんしん

中途採用の活性化を

問 近年、労働・雇用を取り巻く環境は大きく変容しており、若年層を中心に転職が一般的な

選択肢となっている。市職員の中途退職者も増加しており、組織運営に支障を来すことが懸念される。中途採用を活性化するために採用上限年齢の引き上げ、中途退職者を再度採用する制度の導入、特定の職務に対する人材の確保に取り組むべきでは。

答 優秀な人材獲得のための採用上限年齢の引き上げや、中途退職者の再度任用を検討する。特定の課題解決に即した専門知識や資格を有する任期付職員の採用も効果的であり活用を図る。

市民を対象とした調査・アンケートの見直しを

問 年1回の市民意識調査をはじめ市は市民に対しさまざまなアンケート等を実施している。しかし、多くの予算や時間を費やしているにもかかわらず、実際の施策に結び付いていない設問も多い。市民の声を的確に市政運営へ反映するため調査の在り方を抜本的に見直すべきでは。

答 市民ニーズを適切に把握し、反映させていくことは大変重要。ノウハウの整理・活用方法の検討を重ね、市民意識調査がより有効な形で実施できるよう取り組む。各課が実施してい

る調査の状況を改めて把握し、全庁的に効果的・効率的な調査が実施できるよう取り組む。
(質問時間42分)



松田しげる
公明党議員団

津門野球場の老朽化対策と
修繕計画

問 野球場外側のネットやポール、外壁などの老朽化を懸念。安全対策は。

答 支柱の塗装やネットの更新などを計画しているが、改修を要する箇所が多い。予算が限られている中で緊急性・必要性が高い施設から、優先的に長寿命化の改修・更新を進めている。

酒蔵通りの事故防止対策

問 酒蔵通りと県道342号線(甲子園六湊寺線)の交差点は、「いびつな交差点形状」であり、交通事故が多発している。事故の再発防止として県道の通行方法を変更するなど、対策をすべきと考えるが。

答 現状、県道側に一時停止の交通規制の対策がなされているが、当交差点は過去3年間に4件の人身事故が発生している

ため、さらなる対策を県ならびに警察とともに協議、検討する。



浜松原橋西側交差点(用海町)

津門中央公園外周の遊歩道の空間整備

公園の外周の遊歩道は、歩いて楽しい、景観がよく少し立ち止まって楽しめる空間整備が大切である、今後の市の取り組みは。

高木化した樹木や、見通しの悪い植栽の剪定を行うなど、適切な植栽管理を行い、桜並木の保全と、安全で歩いて楽しく、ゆっくり滞在できる空間づくりに努めていく。



坂上 明 啓誠会

部活動の地域移行

これまで教員が担ってきた公立中学部活動を地域団体等

に担ってもらい、いずれ学校部活動を廃止するという、所謂部活動改革の一つで、その背景には少子化・教員の働き方改革等がある。だが、最も重要な予算をはじめ、指導者や受け皿の確保、受益者負担、生徒の安全面等、未だ全く未整備の状態であり「丸投げ」する無責任極まりない文科省に対し、同省出身の教育長においては、本市の窮状を伝え、同施策の根本的見直し等、是非進言されたい。

解決、対処すべき課題は大きく教育長としてしっかり取り組むことが責務とされている。担当者に会う機会があれば市の現状等を伝えることはできる。

災害時における避難所リーダーの育成

災害時の避難所は、被災者の拠り所となる。阪神淡路大震災を教訓に、災害時の避難所運営に関し、何が起るかはほぼ明らかになり、運営マニュアルも整備されてきた。避難所開設は、大災害程、数も増え長期を要する。「長期戦」に備え、適切に避難所運営ができる、熟練した人材を是非育成されたい。

避難所リーダー育成研修

の実施、自主防災会や若い世代、女性に対する啓発、避難所運営訓練の実施、マニュアル整備など各種施策を推進していく。



おおさこ 純司郎 会派・ぜんしん

介護職員の処遇改善

介護福祉業界の人材不足・介護離職増は、労働時間から換算して他職種より断然給与が低すぎるのが原因と常に言われ続けている現状だ。介護職員処遇改善加算は、介護業界で働く人々の賃金を改善するための国の支援制度だが、人材を確保し長期間働ける環境を整えるため、また介護福祉業界全体の人手不足を解消するため、本市独自の処遇改善金の導入を検討していくべきだと思いが、市の考えは。

国の報酬改定で対応すべきと考えており、国に処遇改善に継続して取り組むよう要望し、処遇改善加算取得促進に関する情報発信を行う等、積極的に取得を検討できるよう努めている。

災害時のペットスペース

災害時の避難所におけるペットの扱いは「原則屋外」。自宅にとどまれば2次被害の危険が伴う。被害者を出さないためには屋内にペットスペースを確保することが最低限必要。さらに市民が安心して避難所へ行き、無用なトラブルを防ぐには「同室避難」まで踏み込むことが重要と考える。問題解決に向け、市はどのように動くのか。

一部の避難所では屋内にも設置し飼いが選べるようホームページで情報発信している。同室避難スペースは国も必置としておらず市も事前設置しない。(質問時間43分)



牧 みゆき 会派・ぜんしん

実態を把握し バランスの取れた環境政策を

ゼロカーボンシティ推進事業のうち市の未利用地約1万㎡で20年間メガソーラーを設置



運営する計画は費用面・環境面ともにリスクを伴う。まず本市の実態把握に努め、来年度国に申請する計画は見直すべきでは。

防犯カメラの更新に際して

令和2年に行った防犯カメラの効果検証では、期待される十分な効果は得られなかったと報告された。来年度の更新は、台数減も含め検討するべきでは。

新型コロナウイルスの定期接種について適切な広報を

10月からのコロナワクチン定期接種では、新しい薬剤の長期的影響は不明なこと、健康被害救済制度の保障内容が変わること等、接種の判断に必要な情報を丁寧に広報するべきでは。ホームページでワクチンの種類や救済制度に関すること



など、接種の判断に必要な情報の提供に努める。具体的な内容は国の情報等を踏まえ検討する。

(質問時間56分)



前島のぶなが
日本維新の会
西宮市議員

市営住宅の入居者選定に関するポイント制の採用

市営住宅について住宅センターネットワークとしての機能を果たすためには、一般住宅の入居者選定にポイント方式を採用すべきではないか。

導入について研究を重ね、住宅困窮度合いをより反映できる採点項目、事務負担などの問題点の整理を行っている。引き続き実施に向けて検討を進める。

西宮市民間賃貸住宅すまかえサポート事業の強化

高齢者など住宅確保要配慮者に対して充実した居住支援を図るためには、居住支援協議会を設立すべきではないか。

居住支援法人と意見交換を行い、協力不動産店、福祉関係団体とも体制強化に取り組んでいる。継続的な支援体制が整った段階で協議会へ移行を予定。(質問時間24分)



山口まゆみ
公明党議員団

福祉サービス利用援助事業の拡充

高齢の方の生活支援で、福祉サービス利用援助事業がある。ニーズに応じた支援ができるように拡充するべきでは。

高齢の独り暮らしは増加傾向にあり将来の不安に対応する受け皿が必要だが、事業実施の人員体制が十分でない。ニーズに対応するため、引き続き西宮市社会福祉協議会と連携し実施体制の強化に向け検討を行う。



市から発信する文書の視覚障害者向け音声ガイド導入

視覚障害者の方への市からの文書に音声ガイド(2次元コード)を導入するべきでは。

希望者の封書に発信課名と電話番号の点字タックシールを貼っているが、点字を理解できない方もおり、シールは内容の記載ができないため、障害福

祉課から発信する文書の音声ガイドの印字について先進市の取り組みや費用面も含め検討する。

産後ケア事業の宿泊型・通所型施設の拡充

産後ケア事業の宿泊型・通所型施設の拡充が必要では。

自治体が提供する産後ケア事業のサービス見込み量の算出等の考え方を今秋に国が示す予定。利用者ニーズの把握に努め国の指針に基づき引き続き宿泊型・通所型の委託先施設の拡充とサービスの充実に取り組み。▼その他の質問 ヤングケアラー支援の強化

(質問時間33分)



一色 風子
無所属

ユースセンターの設置

ユースワーカーを配置したユースセンターの設置に向けて検討をしようか。

ユースワーカーの配置、音楽スタジオの設置や各種イベントの開催、リスクの早期発見や対応が可能となるようなユースセンターの必要性は認識しているが、ユースワーカーを配置

したユースセンターの設置は、既存施設の活用可否や組織、人員体制など課題もあり、現時点では困難。今後は、高校生が主体となって市に政策提案するYouth委員会での意見や他市の事例を参考にしながら、本市にとって若者世代に寄与できるセンターの設置を研究していく。

▼その他の質問 5月臨時会における市長専決処分控訴事件子ども・子育て支援事業計画

(質問時間26分)



Youth 委員会の様子(神祇官町)



前田しゅうじ
日本維新の会
西宮市議員

御前浜公園 自然環境保全管理マニュアル

「御前浜公園自然環境保全管理マニュアル」の位置付けについて聞きたい。

御前浜公園の管理運営の

指針となるよう平成31年3月に作成し、目指すべき将来像、現状と課題、具体的な保全管理方法等をまとめている。現在、このマニュアルに基づき維持管理および保全を行っている。

御前浜公園の今後

今後の御前浜公園の在り方について、市の見解を聞きたい。

御前浜公園周辺は貴重な自然景観や生態系が保全されている。今後も地域、ボランティア団体と協力し、環境保全に努め、市民の方々が浜辺の環境を享受できるよう取り組んでいく。

(質問時間25分)



ありめこうへい
日本維新の会
西宮市議員

留守家庭児童育成センターの指定管理料

令和5年度の監査報告では、社会福祉協議会が運営する育成センターで毎年1億円以上の利益が生じ、3年間で約4億円が蓄積されていると指摘された。未使用の資金は「みなし寄付」として処理され、5年間で

総額2億7千9百万円が積み立



てられているが、返還義務がないのは市民感覚では違和感がある。指定管理料は市民の税金であり、本来の目的に使われるべき。この余剰金の返還や市民サービスへの有効活用について協議すべきと考えるが市の見解は。

問 余剰金の返還を求めないことを募集要項や協定書に示しているため返還は難しいが、育成センター事業への活用や地域福祉の充実に寄与できるよう社会福祉協議会と協議・検討する。
(質問時間23分)



村上ひろし
あなたの声を
市政に!

教育委員会様 こんにちは夏休みの宿題出していいんかい

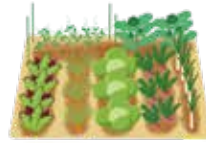
問 学力向上に科学的エビデンスのない宿題を、すべての生徒に同じように出す事は適切か。

答 児童生徒の学習状況や意思に基づき4パターンの課題から本人が課題を選んで取り組むといった主体性を重視した工夫を行っている学校もある。今後各学校で実態を踏まえ適切に宿題が出されると認識している。

市民農園を増やす取り組みを

問 市民農園の利用料に関しての市の考えは。

答 市民農園は駐車場やトイレ等がなく、農地所有者が返還を求めた場合は閉園となる不安定な契約のため実費に近い利用料としている。今後も近隣市も参考に、維持管理費の見直しも含め適正な料金設定を検討する。
(質問時間39分)



今泉ゆうた
日本維新の会
西宮市議員

地域の防災活動における
団体間の連携と行政の役割

問 防災は地域の課題であり、その解決には庁内内部局を超えた共通意識と調整が必要と考えるが市の考えはどうか。

答 自主防災会と他の地域団体は、日頃からの各種コミュニティ活動を通じて、相互に密接な連携を図りながら、防災訓練や備えなどの取り組みを協働して推進していくことが重要であり、市としても、地域で活動す

るさまざまな団体と共同で小学校区防災訓練を実施するなど、地域団体間の連携強化に努めている。今後とも庁内関係部局が協力しながら、地域との協働や支援を行っていくとともに、庁内横断的な仕組みづくりについても検討していく。

▼その他の質問 在宅避難者の支援
(質問時間23分)



江良 健太郎
日本維新の会
西宮市議員

戸籍証明書の郵送請求手数料の
キャッシュレス化

問 弁護士、司法書士等の士業の方が代理人となり、戸籍を郵送請求する際、定額小為替を使用しなければならない。国の国家戦略特区諮問会議でも士業による各種証明書の職務請求のオンライン化が検討中であり、諸課題を洗い出し令和7年度早期に結論を得るとある。業務効率化と利便性向上に向けたDX

推進の観点から、小為替を使用しない郵送請求キャッシュレスサービスを導入すべきと考えるがどうか。

答 定額小為替の準備が不要となる一方、紙とシステムの2重管理となるなど新たな事務が発生し、費用対効果の面で課題がある。国のDX化の動向を注視し先行実施している自治体の状況などを研究していく。
(質問時間24分)



大川原 成彦
公明党議員団

水泳授業中止時の指導計画

問 雷注意報で多くの水泳授業が中止になったが、本来の教育目的は達成できているのか。

答 予備日に実施するなど水泳機会の確保に努めているが、天候等の事情で実施が出来ない場合はプールを使用しない指導に変更している。学習指導要領には「水泳の学習は気候条件に影響を受けやすいため、教室でのICTを活用した学習や、保健分野の応急手当と関連させた学習など指導計画を工夫することとが大切」とあり、計画段階か

ら予備日を設定することや屋外で実施できない場合も目的が達成できるよう指導計画の工夫を行うなど各学校に指導していく。

問 新センターの内容について一般利用者への案内はどうするのか。

答 新センターでは市民交流センターが行ってきた取り組みに加え、大学・学生や社会福祉協議会等とも連携し、地域課題に多様な主体が有機的に関わり取り組みを強化する等の事業展開を予定。また市民や団体の交流スペースの確保や、活動を見える化し団体間の交流を促す施設運用に対応した小規模改修を見込む。一般利用の団体には新センターの開館時期が決まれば、円滑な移行に向け近隣の公共施設を含めた活動場所を案内予定。
(質問時間33分)



田中 正剛
啓誠会

ICT技術を活用した
学校施設の活用

問 部活動の地域移行を念頭に置き、市内の小・中学生が活

動する団体が、ICTを活用して夜間や休日の学校施設を一層活用できるように、環境整備を進めるべきと考えるがどうか。

答 ICTを活用した環境整備は施設改修やシステム構築を伴うため慎重な検討が必要。部活動を地域移行する制度設計の中で学校施設の目的外使用の在り方、管理方法を検討したい。

子供が参加対象の大会の施設使用料支援

問 市内の子供が参加する大会に使用する運動施設の使用料が実質的に無償となる支援を、来年4月以降も継続すべきと考えるが市長の見解を聞きたい。

答 ほとんどの近隣他市町でも100パーセントの支援はしていない。厳しい財政事情だが、高校生以下が主体の大会は、手厚い支援ができるよう検討する。

宮水ジュニア講座の対象年齢の拡充

問 より多くの子供が、学校以外の場所で、音楽活動や芸術創作活動、伝統芸能など文化的活動を体験できるように、宮水ジュニア講座の対象年齢を小学1年生まで引き下げてはどうか。

答 年齢に合わせた受講内容

を提供する必要があるなどの課題があることから、今後も課題の整理に努め、効果的な実施方法を検討していく。

(質問時間42分)



公立認定こども園の1号認定の受け入れ

問 公立認定こども園の1号認定の受け入れについては、実質3歳児受け入れとなるが、それは、私立幼稚園の経営的観点からは民業圧迫とならないか。市の考えは。

答 1号認定の3歳児の募集は、私立園からの要望も踏まえて時期を配慮する。募集定員は各園5名を想定し、需給バランスに配慮して増員は行わない。

私立幼稚園と本市との歴史的事実の認識

問 私立幼稚園と本市との歴史的事実をどのように認識しているのか聞きたい。

答 本市の幼稚園教育は多くを私立幼稚園が担ってきた経緯があり、公私立園の共存共栄を基本に継承・発展してきた。市の幼児教育・保育を共に進める大切なパートナーと考えている。

0歳児から3歳児に向けた取り組み

問 ユニセフの世界子供白書によると、出生前から出生後の数カ月から数年間の環境が、子どもの成長に大きな影響を与えらるといわれているが、妊娠から3歳前までの子育ての重要性を踏まえた本市の取り組みは。

答 妊娠時の個別面談、産後の家庭訪問や乳幼児健康診査を通じた総合的な相談支援、子育てコンシェルジュによるサポート、親子同士で交流できる子育てひろばの開設等を行っている。

(質問時間43分)



市の公益通報制度の現状

問 自死した元県民局長が告発した斎藤知事によるパワハラや贈答品受け取り、阪神・オリックス優勝パレードを巡る経費

処理の不正等の七つの疑惑、また告発された張本人が犯人探しをし、調査し、処分した県の一連の対応が公益通報者保護法違反ではないかについて、現在、県議会が百条委員会を設置し調査中である。こうした事態の中、本市の公益通報制度はどうなっているか関心も高まっている。

答 通報に関する調査委員会の委員構成を弁護士等の外部委員のみに見直し、制度を市ホームページで周知。その他、通報件数や是正措置の概要等の公表、退職後1年以内の職員も通報できるよう対象者の拡大を図った。

(質問時間37分)



兵庫県「公民連携による万博子ども招待プロジェクト」

問 大阪・関西万博の開催については、①パビリオン建設の遅れ、②費用の膨張、③命を脅

かす危険な場所、④カジノ誘致の問題など、見過ごせない幾つかの重大問題が指摘されている。特に、開催地はゴミが集積された人口島で、ダイオキシン、PCB、メタンガスなど有害物質満載の場所である。

「万博子ども招待」事業において、少なくとも各学校行事として参加する方針は撤回すべき。市は、万博会場の危険性について、どのような認識を持っているのか、答弁を求めらる。

答 現在建設中さまざまなルールもこれから決まるため現時点で判断は難しい。子供達の安全を第一に、情報収集をして学校にしっかりと提供していく。

(質問時間41分)



直営型による放課後施策の一体的展開

問 市職員のコーディネーターを小学校に配置し、放課後は地域の方々とともに児童の特性を把握する中で、きめ細かな見守りを目指す放課後キッズルーム事業直営型は地域全体で子供の成長を支えることにつながる。

その集約に向けた方向性も検討する必要があるが、考えを聞く。

と放課後キッズルーム事業は、制度上の違いはあるが、多くの点で趣旨が共通するため、特に、高学年を中心とした事業の一体的展開について、引き続き他の取り組みと並行して進めていく。一方、実施時間や登所・降所の管理、過ごし方等に違いがあるなどの課題もあるため、引き続き研究を進めていく。

阪神・淡路大震災の追悼事業

来年1月17日に阪神・淡路大震災30年となるが、本庁舎周辺でも追悼事業を実施するとしている。具体的内容を聞く。

30年目を迎える節目のため例年実施している西宮震災記念碑公園での献花や黙禱に加え、六湛寺公園にも献花所を設置し、第二庁舎1階の防災啓発コーナーでパネル展示を行う予定。六湛寺公園の献花所は、令和4年度の市民意識調査の結果から通勤途中に立ち寄れるなどの利便性に鑑み、開始時間を午前7時台または8時台とする予定。

(質問時間58分)



都市公園の整備方針

みどりの基本計画において、ストックの再編というような視点が無いが、本市の公園整備において必須の視点であると考ええる。市の見解は。

公園整備は利用促進に寄与するが、人口減少や新たな用地の取得が難しい状況を踏まえ、都市公園のストック再編も重要な視点となる。再編では、地域のニーズの把握と反映が重要であり、それぞれの事情にあわせて公園の機能改善を図ること、利用を促し、管理コストの削減につながると考えている。まずは、同規模の他市の事例について調査・研究を行っていく。



JR西宮駅北側市有地の活用

当該土地は監査でも指摘

がされており、取得から17年未利用地となったままである。駐輪場と未利用地部分は一体利用も含めた検討が必要であると考え、市の見解は。

当該用地は快速停車駅のJR西宮駅直近に位置する本市の貴重な財産であり、長期的な視点から本市の都市核にふさわしい活用策について、隣接する駐輪場も含めて一体的に検討することが望ましいと考えている。今後、民間活力の導入も視野に入れながら、周辺地区も含めた将来の本市のまちづくりに寄与する活用方策について検討を行っていく。



校則の改廃手続きの明文化

学校には補食の持ち込み禁止、買い食いの禁止、髪型や下着の色の指定などの見直すべき校則がある。生徒が校則を改廃できるよう改廃手続きを明文化することについて伺う。

改廃手続きの生徒への周知方法は各校によりさまざま、

明文化も1つの方法と考えている。今後も各校が、実情を踏まえ対応できるよう支援していく。



各中学校への自動販売機の設置

熱中症対策のため飲料やエナジーバーの自販機を学校内に設置することについて伺う。

水分補給には一定の効果があると考え、金銭面や健康面での配慮など指導上の課題も多く存在する。熱中症対策にはしっかりと取り組んでいく。



公民館等の適正配置

大学交流センターと市民交流センター再編の例をひとつ取ってみても、対象施設の廃止にあたっての明確な基準がないため、なかなか再編が進まず、利用者が大変混乱している。財政構造改善を進めるにあたり、

今一度、全体最適の視点から対象施設の地域間のバランスを中心に検討された「西宮市公共施設適正配置審議会」からの答申に基づき、公民館、市民館及び共同利用施設の統廃合の目標値や廃止の基準を示すべきだと考えるが、市の見解は。

現時点において対象施設の統廃合の目標値や廃止の基準を示すことは困難だが、まずはソフト面の取り組みについてロードマップを示せるよう検討を進めていく。



西宮市幼児教育・保育の在り方

公立幼稚園の再編等によって生み出された経営資源は「今後、必要となる子ども・教育施策へ活用」、「例えば支援が必要な児童の対応などに応えていく」としている。保育所等に支援が必要な児童への配置を厚くすることは児童にとって効果的であり、保育士等が働きやすい環境整備や保育の質の向上にもつながる。具体的にどこに

(質問時間21分)

(質問時間38分)

(質問時間21分)

経営資源を投じるのか。

教育・保育の現場は、子どもの障害、家庭環境、虐待など支援ニーズが複雑化・多様化しており、これまで以上に人材・財源を投じることが必要。また、保護者の子育てに寄り添う伴走型の支援が必要。特定の事業に限定せず、諸課題に対して効率的・効果的な活用を図っていく。

(質問時間27分)



おきの 尚美
市民クラブ

駅周辺の放置自転車対策

放置自転車の撤去を市はどのように行っているのか。

警告札を貼り、30分ほど経過後に撤去。その際毛布で養生し状況を撮影するなど慎重に作業している。また周辺の店舗を訪れ、利用客への呼びかけや駐輪場確保の指導も行っている。

放置自転車の撤去回数と費用

令和5年度の撤去・保管費用は約1億1800万円とのことだが、近隣市に比べて撤去回数が多く感じる。市の見解は。財政構造改善のなか今年

度経費削減を行った。作業時間短縮等による放置台数や市民の声への影響、他市の状況も参考に効率的な撤去を研究していく。

笠屋町交差点の安全対策

笠屋町交差点は交通量も多く事故も絶えない。歩道橋はあるがバリアフリーではない。

北進左折車が自転車横断帯を走る自転車や歩行者と接触する事故や、自転車・歩行者に気づいて急ブレーキをかけた後続車が追突する事故が起きている。

横断歩道の設置と歩車分離信号の設置は急務と考えるが市の考えを問う。

横断歩道の増設等の改善を警察と県に要望する。歩車分離型信号は渋滞が発生するため採用困難と警察より聞いており、他の方法での検討を要望する。

(質問時間45分)



田中 あきよ
市民クラブ

保険証に関する市の広報

12月以降の健康保険証について市民から不安な声を聴く。正確で詳しい情報を広報すべき

と考えるが市の考えは。

疑問や不安が解消されるよう市政ニュースやホームページ等で丁寧な広報に努めており、今後も正しい情報のもと診療を受けられるよう周知に取り組み。

マイナンバーカードからの保険証の切り離し手続き

マイナンバーカードから保険証の切り離しができることになるがどのような手続きか。

国の資料によると、利用登録解除を希望する方が申請書を医療保険者に提出し、他に有効な健康保険証がない場合は資格確認書を交付する予定。



総合福祉センターの多目的トイレ

西宮市総合福祉センターの多目的トイレに大人用介護ベッドのユニバーサルシートが無い。共生のまちづくりを進める西宮市が、福祉の要となる当センターのトイレをこのままにして良いのか。市長の考えを聞く。財政上、施設構造上直ち

に対応が出来ない場合も代替策を講じることが重要と考えている。今後も利用者の意見を伺い、利用しやすい施設運営に努める。

その他の質問 職員のファッションリレーション力の向上、教育長の考えを問う、子どもの声を聴くための仕組み ほか

(質問時間53分)

お知らせ

〈委員の辞任・選任〉

7月25日付で、今泉ゆうた議員が広報委員を辞任され、前田しゅうじ議員が広報委員に選任されました。

高校生が市議会へ

7月16日、市立西宮高等学校(特色選抜入学)の1年生37人が市議会を訪問し、議員が本会議場にてプロジェクターを使いながら議会の仕組みや役割を説明しました。



参加した生徒からは、「市議会が何を行っているのかわらなかったので、今回の説明を聞いてとても興味を持ちました。」「政治に興味をもっていきたい。」といった感想が寄せられました。



12月定例会の開催予定

12月						11月
18(水)	17(火)	13(金)	12(木)	11(水)	9(月)	28(木)
予備日	本会議 採決など		常任委員会		本会議 一般質問、質疑 委員会付託など	本会議 提案説明など

▽開催予定時刻は午前10時です。

日程は変更される場合があります。

▽お問い合わせ：議会事務局議事調査課

(0798)353378

委員会の活動状況

常任委員会は、市の事務の調査や、議案・請願の審査のために設置されている常設の委員会です。西宮市議会には5つの常任委員会があり、議長以外の全議員がいずれかに所属しています。(記事は9月末時点)

〔長〕委員長 〔副〕副委員長

常任委員会に
関する各種情
報はこちらを
ご覧ください。



総務常任委員会

- 山田ますと〔長〕 松本たかゆき〔副〕
- 江良健太郎 澁谷 祐介
- 田中あきよ 野口あけみ
- 前島のぶなが 村上ひろし

本年度の総務常任委員会のミッションは、11月に報告される財政構造改善実施計画素案の厳正な審査と持続可能な市政運営のための政策提案です。

「財政構造改善実施計画に向けて」をテーマにこれまで計6回開催し、既存事業を確認し改善すべき施策の課題を整理し、施設総量縮減への具体的プロセスとルール化、市有地の売却、職員の適正配置と人件費の抑制、給与水準の適正化、マネジメント機能が発揮できる人事・組織体制等について討議しました。9月には、財政構造改善に取り組まれている自治体を題材に勉強会を開催しました。

民生常任委員会

- 菅野 雅一〔長〕 ありめこうへい〔副〕
- 大原 智 しげひさ大学
- 田中 正剛 宮本けいこ
- よつや 薫 渡辺けんじろう

9月12日の委員会でもから「西宮市立中央図書館移転整備基本構想及び基本計画(素案)」に対する意見提出手続き(パブリックコメント)の結果について」と「西宮市食肉センターのあり方検討について」の所管事務報告を受けました。

中央図書館は阪神西宮駅北側で整備される公民複合施設に移転し、令和12年度までの開館を目指しています。パブコメに88人から287件の意見が寄せられました。市は食肉センターについて「令和11年度以降は公設として維持できない」との方針を公表。当委員会は管内・管内視察で詳細な調査を進めます。

健康福祉常任委員会

- 松山かつのり〔長〕 今泉ゆうた〔副〕
- おおさ純司郎 河崎はじめ
- 坂本 龍佑 中尾 孝夫
- 三好さつき 山口まゆみ

所管事務調査として「要介護認定におけるデジタル化」をテーマとし、要介護認定を必要とする方の早期認定と関係者の負担軽減を目的として調査します。そのため現在先行して実施されている川崎市、ふじみ野市の視察を予定しています。この仕組みを学んで、本市に提案をしてまいります。

また、本年10月に「健康ポイント事業」が中断されます。市民の健康保持のための取り組みでしたが、それに代わるフレイル予防について、西東京市や柏市の先進的な取り組みの視察を予定しています。委員間で議論を深め、市への提言を行います。

教育子ども常任委員会

- 浜口ひとし〔長〕 おくの尚美〔副〕
- 一色 風子 大川原成彦
- 川村よしと 佐野ひろみ
- 庄本けんじ たかのしん

決算特別委員会教育子ども分科会について

公立幼保再編に向けた取り組みについて、複数の委員から再編後の養護教諭の配置や、待機児童数が多い地区の公立保育所閉園などについて意見がありました。また、保育需要の増加に伴い育成センター施設も増加傾向にある中で、人材不足の課題や指定管理に関する課題などにも意見がありました。今後の部活動地域移行について、現在予定されている手法では目指すべき結果(生徒が希望する部活動実施と教員負担の軽減)を得られないのではという意見がありました。

建設常任委員会

- 多田 裕〔長〕 牧 みゆき〔副〕
- 草加 智清 坂上 明
- 花岡ゆたか 前田しゅうじ
- 松田しげる 森 けんと

定例会中の委員会においては南甲子園1丁目南地区地区計画の決定に伴う条例改正などの議案が付託され、いずれも全会一致で承認されました。

視察に関しては、本市の施策や課題と照らし合わせ、以下の内容を予定しています。

【管内視察】

横須賀市・長井海の手公園の Park+PFI事業

三浦市・100年先を見据えたアセットマネジメントとこれに基づく三浦市水道ビジョン
大東市・官民連携による市営住宅建替え・再開発プロジェクト

【管内視察】

苦楽園大丸地区

議案等審議結果一覧表 (令和6年9月定例会)

全会一致で可決等されたもの

Table with 2 columns: Item Name (e.g., 令和5年度決算, 令和6年度補正予算) and Description. Includes a vertical label '市長提出' on the left.

※退場者がいた場合は、下表「表決態度が分かれたもの」に記載しています。

表決態度が分かれたもの

(○賛成、×反対)

Large table with columns for Party (e.g., 日本維新の会, 公明党) and rows for various cases (e.g., 令和5年度決算, 令和6年度補正予算, 人事). Includes a vertical label '市長提出' on the left.

- 採決結果の○は、提出された議案等に対して賛成多数で可決・認定されたことを示しています。
採決結果の×は、提出された議案等に対して賛成少数で否決されたことを示しています。
「退場」とは、採決に参加しなかったことを示しています。
無所属議員は会派に所属していない議員です。

西宮市100周年記念プレ事業 にしのみや市民祭り (10月26日)にて、第7回「議会体感ツアー」を開催しました。ツアーは正午から全5回開催し、計243名の幅広い世代のみなさんにご参加いただきました。

クイズを交えた議員による西宮市議会についての説明や、議場内での記念撮影などを通じて、本会議場は大いに盛り上がりを見せました。西宮市議会では、今後も議会を身近に感じてもらえる取り組みを進めていきます。



西宮市100周年記念プレ事業

第49回 にしのみや市民祭り

議会体感ツアー

議会体感ツアーの流れ

②議員が議会棟を案内

①議会棟前で受付



④記念撮影♪



③本会議場で市議会の仕組みを説明

参加者アンケートより

- 小学生の子供と参加しました。子供でもわかりやすい内容で良かったです。
- 議員さんながらイスに座り、起立するのは良かったです。議会の役割が簡潔に説明されていた。
- 昨年も参加しました。クイズは違う内容になっていて、毎年工夫されているのが分かりました。
- 市議会だより次回からしっかり見たいと思います。体感ツアー参加して良かったです。

議会体感ツアー実行委員会(広報委員)から一言

- 年代問わず多くのご来場をいただき感謝申し上げます。市議会へのご理解を高めていただけるよう今後も工夫していきます。
- 子どもさんの参加が多く、さらに企画やクイズの内容など、来年も楽しんでいただけるよう取り組んでいきます。

